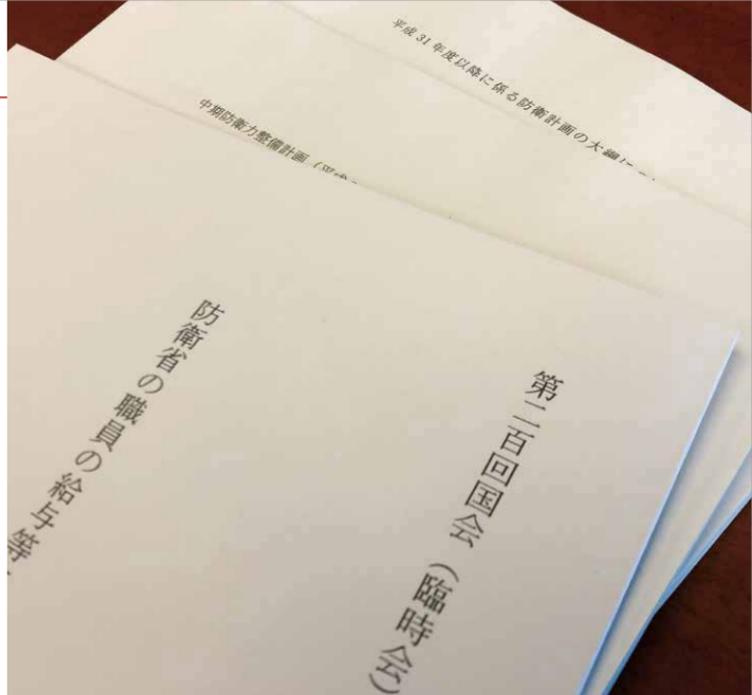


# ぽれぽれ 通信

君は決して  
評論家になるな!

3・4月号  
vol.51



## 待遇改善を求める 声が続いていた

近年、大規模災害が多発し、その都度、災害派遣で活躍す

る自衛官の姿をご覧になっている読者の皆様も多いと思われる。他方、自衛隊に若者が来ない、自衛官のなり手不足と言う課題も年々深刻化して

## 夢や希望を語るのも 大切だが、政治家には 実現力こそ必要だ!

いることをご存じだろうか。原因は、様々あるだろう。例えば、仕事が大変そう、規律が厳しそう、訓練が辛そう、お給料が安そうなどなど挙げればきりが無い。

「人は城、人は石垣、人は堀」と言われるように防衛省・自衛隊においても人（自衛官）が、なによりも大切であるのは、論を俟たない。従って、各方面から自衛官の処遇、待遇の改善を求める声が上がっていた。2年前、山本が、自民党での防衛政策や安全保障政策の責任者である国防部会長を務めていた際に、新たな防衛計画の大綱（防衛大綱）と中期防衛力整備計画（中期防）の策定時期が来た。防衛大綱とは、今後10年程度の防衛力の整備方針を示す。そして、そ

の防衛大綱に基づき中期防が当面5年間の装備や組織の整備目標を掲げる。そこで、山本は防衛大綱に自衛官の待遇の改善を盛り込めばよい、と考えたのだ。そこから山本の孤独な戦いが始まるとは、当の本人は知る由もなかった。

## わずか2文字をめぐる 熾烈な攻防戦があった

当時(2年前)、国防部長の山本は、部会後の記者へのブリーフィングなどで「自衛官の勤務状況を考えたらもう少し給与が高くてほしい。改善の明記は意義がある」と述べるなど、前向きな姿勢を示し、加えて、2年前の5月、山本部会長の下、党でまとめた提言の中に「士気向上のために各種手当の拡充や勤務環境の整備などの待遇改善」を明記し

ていたので、最初に出てきた防衛大綱の案文には既に「待遇の向上」の文言があった。

但し、「待遇の向上」だけを明記しても向に進まない自衛官の待遇改善に気が付いていた山本は、着実に改善させるために「給与」を含めた待遇の改善を明記するように求めた。が、党政務調査会や防衛省内局のスタッフ・職員達から異口同音「部会長、既に待遇と言っている中に給与も含意されています」、「給与の文字は必要でしょうか?消しても大丈夫じゃないですか?」と給与の二文字は明記しなくても良い、十分表現されているので、削除しませんかと言われたのだ。

「なぜ、そのように言うのか?」と聞くと、異口同音「予

算が絡んで来ますから」と。つまり、実現が不確かなものを書くのは如何なものか、と言いたい様であった。しかし、山本は「ダメだ。給与の文字を入れないと部会長としてこの案は通さない」と何度となく突き返した。防衛大綱策定の最終局面に差し掛かると、「これは閣議決定される重要な文章です。何とか矛を収めてくれませんか?」と党政調・防衛省双方から言われ、山本は「何を言っているのですか?閣議決定するから意味があるので。給与と書かないと認めません」と言い切った。実は、自民党の部会長は大きな権限を有しており、部会長がOKを出さないと党内での政策決定が完了しない。党内には、全ての府省庁に対応すべく13の部会が設置されており、各府省

庁の所管する法案や予算は、全て与党の事前審査を経なくては前に進まない。それ故に、山本は最大限、この権限を行使したのだ。そして、晴れて「給与」の2文字を入れた防衛大綱(案)を策定し、笑顔でそれを了としたのであった。それが2年前の年末のことであつた。

## 政治家は経済アナリストや評論家になつてはダメだ

昨年末に防衛省給与法が成立した。これにより自衛官候補生や2士の新入隊員の給与が一気に上がり、このまま行くと同階位程度の警察職(国家公務員)の初任給(全国平均)を上回ることになった。これは、前述の通り、山本が深くかかわつた2年前の年末に策定された防衛大綱に起因している。



▲国会で、政府の一員として答弁を行う山本。

この防衛大綱を後ろ盾に防衛省の内局の職員は、財政当局に「閣議決定された大綱に「給与“面の改善”と明記されていますよね？」と攻勢に転じ、今回の法案で初めて新入隊員の初任給を一気に引き上げることに成功したのである。丸2年を要したが、給与の改善は実現した。

実際、自衛官の処遇の改善は、以前から指摘をされ続けてい

たことであり、政治家から「処遇の改善をすべきだ」などの声は複数上がつていた。経済、環境、教育など色んな問題が山積する中、良いアイデアや夢、希望を語るのも大切なことであらう。しかし、政治家は、実際に実現させなければならぬ。山本もよく先輩から「君は政治家なのだから決して評論家になつてはダメだよ」と言われていたぞうだ。例えば、休眠預金の問題も「埋蔵金を見つけた」と大騒ぎをしていた政治家は多々いたが、実際に何も実現していない。一方、山本はゼロから議員立法を行い、丸4年を掛け法案を成立させ、休眠預金を活用できるように実現した。言うだけでなく、本当に実現させる山本の活動をこれからも本誌で紹介していきたい。



# ぺんぺん特別秘書官の603運動紹介!

## 第11回は、 「カラオケ稲穂会」を紹介するぞ。



「明るく、楽しく、和やかに」をモットーに、平成13年から続くカラオケ稲穂会は2つの活動場所があり、第1・第3火曜日に深沢学習センター、第1・第3金曜日に大船学習センターの会場でそれぞれ月2回、午後1時から3時間ほどの練習を行っているんだ。練習はカラオケのセットを使い、曲は新曲をメインにポップスや演歌、デュエットなど様々なジャンルをグループレッスンと個人レッスンの形で歌っているぞ。年齢制限や入会資格は特になく歌が好きな人ならば誰でもOKだぞ! 歌いやすいトーン、キーなどを先生が教えてくれるので初心

者の人でも安心だ! 歌い方も発声の基礎や腹式呼吸などを身に着けることができるので確実にランクアップできる!

発表の場は、毎年春に行われる発表会や市民まつりなど多岐にわたるぞ。

参加費は会場ごとに月3000円。

下記に連絡先があるので興味を持った人は連絡をしてみてください! 今年で20周年を迎える稲穂会、ぜひ参加して一味違う歌唱力を身に付けよう!



お問い合わせ先

代表者 松本 武

連絡先 090-8033-0313



駅で「ぽれぽれ通信」を  
お配りしております  
**駅頭活動報告**



「頑張ってる!」「活躍しているね」  
「twitter見てます」「一緒に写真撮りませんか?」  
「握手して下さい」など色んなお声掛けを  
頂き、有難うございます!  
お受け取り頂いた皆様も  
誠に有難うございました!

朝の6:30~8:30までの2時間にわたり、4区内の  
下表の駅で活動をさせていただいております。

※雨の日は靴と傘をお持ちの皆様が多いので、駅頭活動を控えています。

前回の「ぽれぽれ通信」配布数

1月・2月集計分

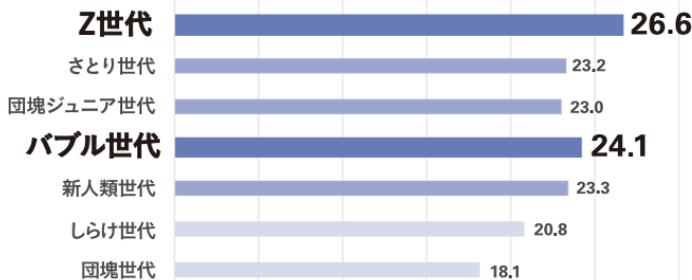
駅名	1月	枚数	2月	枚数	前月比
逗子駅	6日(月)	362	3日(月)	207	↓
新逗子駅	7日(火)	367	5日(水)	241	↓
鎌倉駅(東口)	30日(木)	365	20日(木)	372	↑
鎌倉駅(西口)	10日(金)	413	6日(木)	295	↓
大船駅(西口)	9日(木)	388	12日(水)	249	↓
大船駅(モノレール口)	14日(火)	138	7日(金)	400	↑
大船駅(東口)	22日(水)	424	10日(月)	420	→
大船駅(笠間口)	2月4日(火)	462	18日(火)	432	↓
本郷台駅	24日(金)	461	17日(月)	465	↑
港南台駅	27日(月)	107	19日(水)	182	↑
	1月配布合計	3,487	2月配布合計	3,263	↓

アドレスは「ぽれぽれ」

twitter、Facebookも本人がやっています  
皆様からのご質問やご意見、お待ちしております。



世代別 女性の休まない美徳意識



「休まない美徳」意識が高いのは「Z世代」と「バブル世代」!

※団塊世代 (68~72歳) しらけ世代 (59~67歳) 新人類Z世代 (54~58歳) バブル世代 (49~53歳)  
団塊ジュニア世代 (37~48歳) さとり世代 (25~36歳) Z世代 (20~24歳)

出典：メディプラス研究所

「休まないハント」は美徳？ 意識高い世代は「無理して会社へ」

山本らが進める「ストレスオフ政策研究会」などが連携し、日々ストレスにまつわるデータの調査を進めている。今回は全国7万人の女性を対象に調査。

例年猛威を振るうインフルエンザに加え、今年は新型コロナウイルスの発生で日本中が戦々恐々だ。感染症は蔓延を防ぐため出社停止となることが多いが、体調不良などの場合でも、周りに迷惑がかかるから休めないと考え、無理に出社した経験のある人はいるだろうか。

働き方改革は進みつつも、未だ日本人の「休まない美徳」意識は根強い。調査したところ、2割の女性が休まないことは美徳であると考えていることがわかった。

年齢層別に7つの世代に分

けると、もっとも「休まない美徳」意識が高かったのは①Z世代(26.6%)、次いで②バブル世代(24.1%)という結果に。Z世代は社会課題意識が高いと言われ、責任感も強い世代だ。仕事の全うは大切だが、病気等の場合はしっかり休息をとり、引きずらないようメリハリをつけた生活を送ることが、心身のストレスオフのためには大切ではないだろうか。もちろん、子供達も同様である。体調不良の場合は無理に登校せずに休むことも必要である。部活動にも同じことが言える。

# 山本ともひろプロフィール

## 経歴

- 関西大学 商学部 卒業
- 京都大学 大学院 修士課程(法学)修了
- (財)松下政経塾 卒業 (21期)
- 米国ジョージタウン大学 客員研究員、その後、会社員を経て
- 平成17年 衆院選 初当選
- 平成26年 文部科学大臣政務官・復興大臣政務官 就任
- 平成27年 オリンピック・パラリンピック大臣政務官 就任
- 平成29年 防衛副大臣・内閣府副大臣 就任
- 平成30年 自民党 国防部長 就任
- 令和元年 防衛副大臣・内閣府副大臣 就任

## 自由民主党 衆議院議員 (4期 11年)

神奈川4区(栄区・鎌倉市・逗子市・葉山町)

昭和50年(1975年)生まれ  
44歳 鎌倉在住



分かりやすいと大人気!

## 国会・防衛省見学案内実施中!

国会や防衛省を山本ともひろと一緒に見学してみませんか?

「政治が身近に感じられた」「分かりやすく、楽しかった!」と大人気の見学ツアーは無料で行っています。詳細は下記の事務所まで、お気軽にお電話ください。



## ぽれぽれ通信って何?



「ぽれぽれ」は、ケニアの公用語のスワヒリ語で「ゆっくり、ゆっくり」という意。私は、ケニア・タンザニア米国大使館同時爆破テロの現場(ケニア)に居合わせたのがきっかけで政治家を志しました。

一度に全てを変えることは無理でも、諦めず、ゆっくりでも少しずつでも政治を変えていきたい。そうしなければこの国は良くならない…。そしてその活動を皆様にお伝えしていきたいという想いを込めて、この冊子を作っています。



## 山本ともひろ事務所リスト

**本部事務所**

神奈川県鎌倉市大船1-6-6 大久保ビル3F  
TEL:0467-39-6933 FAX:0467-39-6943

**国会事務所**

東京都千代田区永田町2-1-2 第2議員会館 1110号室  
TEL:03-3508-7193 FAX:03-3508-3623

令和2年(2020年)3月2日発行 第51号

【編集・発行】山本ともひろ後援会ぽれぽれ通信制作委員会 鎌倉市大船1-6-6 3F TEL 0467-39-6933 FAX 0467-39-6943

※本誌は、隔月(1、3、5、7、9、11月)発行の機関誌です。バックナンバーについては上記事務所までご連絡ください。またHPにも掲載しておりますのでご覧ください。